

「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針」への要望

東京都様およびKK社様におかれましては、日ごろから丁寧に協議にご協力いただき、大変ありがたいことと感謝申し上げます。

KK線は、再開発事業が活発化する八重洲、京橋、日比谷、新橋と、ゆるやかに変化する銀座をつなぐ結節点として重要な役割を担っています。そしてまた、銀座の外周を囲むように位置していることから、銀座が守り育ててきた「歩いて楽しい街」をステップアップさせる起爆剤として非常に関心が高まっており、様々な意見が寄せられています。

そのため、「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針」（以下；方針案）について、以下の通り銀座の要望をまとめさせていただきます。

1. 空間のありかた

1.1 人中心の開かれた場所とする一歩いて楽しい上部空間

「歩いて楽しい街」を目指す銀座の回遊性を強化する再整備を期待します。また、様々なバリアを持つ方々に十分配慮され、誰に対しても開かれた人中心の空間を基本にお考え下さいますようお願いいたします。方針案では次世代モビリティが示されていますが、モビリティそのものが急速に多様化している今、未来の姿は想像もつきません。歩行者が安全・快適に歩けることを前提に、環境負荷、デザイン性等への十分な配慮に加えて、移り変わる時代や街並みと呼応しながら、豊かな空間に育つ包容力のある発想と人中心の場づくりが求められます。

1.2 地上も魅力的な空間とする一周囲の街と連続する街並み

今回の再整備はKK線上部空間の歩行者系ネットワーク化が主題ですが、本来、歩行者系ネットワークは地上レベルに整えられることが望ましいことは言うまでもありません。下部空間においても銀座らしい街並み景観や回遊動線、そして上部空間の歩行者空間と連携した魅力的な歩行環境が生み出されるよう継続的な検討をお願いします。

1.3 上部空間と地上をしっかりとつなげる一縦動線の充実

方針案では5か所の縦動線が示されています。下部・上部空間ともに、既存構造躯体の技術的観点から設計上の制約があることは理解しておりますが、数と配置の適正については、利便性および安全面への配慮を最優先として慎重にご検討をお願いします。

2. 事業・運営の進め方

2.1 創造性あるアイデアを受け止めるーコンペ実施や情報発信

上部空間には、創造性あるチャレンジを受け止める包容力と、公共の場としての位置づけ、そして広がりを持って維持される仕組みの構築が求められます。

地域の意見をしっかりと受け止める場、公共性のあるものとして多くの市民の意見を取り入れる仕組み、そのうえで主体性のあるマスターアーキテクトのコンペティションの実施、積極的な情報発信など、隣接地区の未来に希望と意欲を持つ方々を呼び込み積極的にかわり続けられる仕掛けを検討くださいますようお願いいたします。

2.2 公共性を担保する仕組みをつくるー近隣エリアと連携した運用・活用

KK 線は、行政区分も性質も異なる複数の地域に隣接しています。複数の地域が KK 線の公共性と共有の資産であるという認識を持ちながら協力してかわり、ともに成長を目指す関係性をベースに、KK 線を介してそれぞれの街の個性が育ち、独自性のあるエリアとして発展していくことが理想です。銀座は、銀座で行う様々なイベントが KK 線上部空間まで広がることを望みますが、KK 線を取り囲む地域は銀座だけではないので、KK 線上部空間の公共性を近隣エリアとどのように共存しながら担保していくのか、その仕組みづくりが重要だと考えます。幅広く意見を集めながらご検討をお願いいたします。

3. 銀座の街の課題解決面からの具体的要望

3.1 銀座の防災機能の強化に資するー災害時利用と資材備蓄等

銀座の防災機能強化へのご協力をお願いいたします。銀座および周辺には、大勢の来街者が避難できるような広場がありません。一時滞在として上部空間を開放できるようにし、帰宅困難者用の備蓄品や応急手当等の資機材置き場、滞在するための簡易テントやアメニティの備蓄等のご検討をお願いいたします。

また、以前から銀座地区の消防団では訓練場所および資機材置き場の確保に苦慮しております。銀座の安心安全を下支えする消防団活動をぜひご理解いただき、必要に応じてご協力をお願いいたします。

3.2 銀座の交通課題に対応するー違法駐輪等の課題への柔軟な取り組み

モビリティのあり方が多様化する中で、電動キックボードをはじめとする新しいモビリティによる新たな課題は予想がつきません。今の交通課題も将来的にどのように位置づけられるのかはわかりません。その中で、現状の交通課題としては路上の違法駐輪が挙げられます。KK 線の上部空間においては、その時々の交通課題解決に向けて柔軟に対応できる空間形成をご検討くださいますようお願いいたします。

3.3 銀座の景観形成に配慮するー周辺開発による壁化の回避

銀座から KK 線越しに見える風景が巨大な超高層ビルの壁の連続になることは望みません。隣接する開発が KK 線および銀座との関係に配慮された計画になるよう周辺環境との連続性を意識していただきますようお願いいたします。

2023 年 3 月 10 日

全銀座会長、一般社団法人銀座通連合会長 遠藤彬

全銀座会代表幹事、一般社団法人銀座通連合会理事長 齋藤充

全銀座会街づくり委員長、一般社団法人銀座通連合会副理事長 東條幹雄

以上